

# 新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

また常日頃より、村政全般にわたりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、2月に北朝鮮による長距離弾道ミサイルが発射された出来事での驚きや鹿児島県桜島の噴火、4月の熊本県熊本地方を震央とする震度7の地震、8月には何度も台風が日本列島を縦断し、そして、10月の熊本県阿蘇山の噴火と11月には東日本大震災を思い起こす福島沖地震と我々の生活を脅かす、自然と地変がもたらす出来事が数多くあった年でありました。

その一方で8月のブラジル・リオオリンピックの日本代表選手団が12個の金メダル含む、総数41個の史上最多のメダルを獲得する活躍で暑い夏の17日間を送り、9月のパラリンピックとスポーツに湧くシーズンであり、2020年東京オリンピックに向けて若いアスリートへの注目と期待の高まりを感じました。そして、この活躍が、我々に大いなる夢と希望、そして笑顔を届けてくれました。

また、昭和村では災害に備え、住民への情報伝達手段の切り札として、4月に防災行政無線の運用を開



始しました。5月に開催された第2回河岸段丘ハーフマラソンには1400名を超えるランナーが県内外から参加し、昭和村を満喫していただき、8月には赤城山船ヶ鼻登山道が開通し、多くの登山愛好者が新たな昭和村の魅力を求め訪れております。

そして、群馬県消防団ポンプ操法大会では第7分団、第10分団がダブル優勝の栄光を得て、10月の全国大会にはポンプ車の部で、第7分団が群馬県代表として出場し、好成績を収める実績を上げ、昭和村消防団の名を全国に広めました。

行政サービス面では第5次総合計画に基づき、村づくりを「みんなでつくろう元気な昭和村」をスローガンに、自主・協同の村づくりを柱とした事業展開と新たな子育て支援としてスタートした、第2子以降の保育料無料化、不妊治療の助成の拡充や、住宅建設の補助金、学童保育所の増設など、将来の昭和村を支えていく子育て支援に力を注いでおります。

また、昭和村を応援する、そして、多くの方々から昭和村の特産物を知る取り組みとして、ふるさと納税の寄附金事業を拡大したことにより、多くの方々から寄附をいただき、来年度へ夢のある、昭和村への期待に応える事業の展開を実施していきます。

国内外へ目を向けますと、TPPの国の動き、そして、今月就任するアメリカ・トランプ大統領と中国・ロシアとの関係、自衛隊の海外派遣、米軍輸送機オスプレイの安全性や日本経済と一億総活躍社会の実現に向けた動きなどの多くの課題を抱えております。

このような状況下で今後も、先人が創り上げてきたこの昭和村に生まれて良かった、住んで良かった、そして多くの皆さんに住みたいと思つて頂ける、夢と希望の実現に向け、誠心誠意頑張つて参る所存でありますので、皆様には、今年も本村の村づくりに対し、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が素晴らしい年でありますよう、そして、さらなる昭和村と村民皆様が発躍し、笑顔と元気な声が届きます1年でありませうと皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長 堤 盛吉